



令和2年度 長岡高校スーパーサイエンスハイスクール

名称	SSRB Chemistry experiments in English	
期日	令和3年1月21日(木) 4限、5限にて実施	
会場	長岡高校 化学実験室	
対象	2年生理数科2クラス	
目的	<p>ALTによる英語での実践的な指導を経験する。</p> <p>このことで、科学研究において必要である英語の学習意欲を高めるとともに教科の枠を超えた学びを体験する。</p>	
内容	<p>ALTのペイトン先生が化学実験の指導を英語で実施した。</p> <p>英語の実験プリント、パソコンのソフトも英語バージョンで行った。</p> <p>ALTが実験目的と方法、注意点をわかりやすい英語で説明した。</p> <p>生徒は温度センサーとパソコンを用いて温度変化のグラフを描き、反応熱を求めた。</p>	
		
	<p>ペイトン先生机間巡視しています。</p> <p>実験に対する質問も英語で行います。</p>	<p>温度センサーでデータを取り込むソフトも英語バージョンです。</p>
アンケート評価	<p>授業後のアンケート結果を集計すると、(回答数 71)</p> <p>(1) 英語での実験を行うということを聞いてどのように感じていましたか。</p> <p>楽しみだった 【25%】 少し楽しみだった 【53%】          どちらかというといやだった 【21%】 いやだった 【1%】</p> <p>(2) 英語での実験の指示は、よくわかりましたか。</p> <p>よくわかった 【35%】 すこしわかった 【58%】          あまりわからない 【7%】 まったくわからない 【0%】</p>	

	<p>(3) 今回の経験で、自分の英語学習の意欲は、変化しましたか？          向上した 【27%】 やや向上した 【45%】          変化なし 【28%】 やや低下した・低下した【 0%】</p> <p>(4) 英語での実験の授業を、どのように感じましたか。          楽しかった【46%】 やや楽しかった【50%】          どちらかといえばつまらなかった【 4%】 つまらなかった【 0%】</p>
感想 など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後悔が多い。数少ない英語での実験をもっと大事にすべきだった。</li> <li>・All English の難しさを知った。実際、英語で話そうとすると文法とか気にするので良い練習となった。</li> <li>・説明を理解するのが大変だった。英語の大切さが分かった。</li> <li>・英文を読んで実験内容を理解するのは何とかできたが、ALT の先生の話聞いて理解するのが難しかった。</li> <li>・SSH の授業を受けたくてこの学校に入学したので ALT の先生の実験授業を受けられて嬉しかった。熱化学の分野は苦手だが実験を通して熱の出入りが観察できて良かった。</li> <li>・実験はもちろんのこと、実験のやり方を英語で表現されることで、単語も簡単に覚えられて、化学での英語の表現を学べて良かった。</li> <li>・英語で少し不安もあったがとても有意義でした。また挑戦してみたい。</li> <li>・口頭説明を理解するのが難しかった。最初は班員とも英語で話していたが、途中から日本語に戻ってしまった。ちゃんと英語を勉強しようと思った。</li> <li>・授業の前は物質名も英語で書かれていたら本当に何も分からないと思って怖かったが、先生の指示と手順の説明を聞いたら意外となんとかになった。</li> </ul>